

## 1 学科紹介

初等教育コース・幼児教育コース

子どもの目線に立って、共に成長できる教員へ

- ・体験的な学びを通し、基礎を身に付ける
- ・理論をしっかり学び、実践力を修得
- ・学びを発展させた技能を身に付ける
- ・卒業後の自身を見据えた学びを展開

## 2 学校の先生の一日は？

出勤、職員朝礼、朝の会（健康観察）、授業（1校時・2校時）、中間休み、  
チャレンジタイム、授業（3校時・4校時）、給食・ハミガキタイム、昼休み、  
清掃、読書タイム、授業（5校時・6校時）、帰りの会、  
職員会議・学年会、部活動、教材研究

- ・他にどんな仕事があるでしょう？

児童の補習、生徒指導（子どもの思いの聞き取り）、児童のノート・プリントを見る  
テスト・作品等の採点、保護者への連絡・話し合い、家庭訪問、連絡帳の記入、  
教室の壁面掲示（図画、習字）、校務分掌（担当教科・領域、庶務、委員会） など

## 3 教育学部 学生の声

- ・教師はやりがいがあり、自分にとってもプラスである。子どもと一緒に成長できる。
- ・小学校は義務教育のはじめだから。 ・教師はしんどいけどやりがいがある。
- ・自分も生きづらさを感じたことがあるが、先生との話で学校へ行けるようになった。
- ・ブラックとか給料とか関係ない。やりがいのある良い仕事。
- ・今までに出会った先生にあこがれた。
- ・人と人との関わりを持つ仕事だから。

## 4 教師という仕事は

- ・人間の成長に関われることのできる仕事
- ・子どもの「先生、ありがとう」という言葉で、今までの苦勞が吹っ飛ぶ。
- ・人をおもひもち ・誠意、意欲、責任感
- ・コミュニケーション力 などなど

## 5 大学時代に何をするか

- ・専攻する内容を極めていく。試験に向けての勉強だけではない。
- ・得意分野をもつこと。
- ・教師は広い視野をもつこと。大学時代にいろいろな経験をしておくこと。  
（旅行、運動、アルバイト、ボランティアなど）
- ・大学時代にこんなことをやってきたと堂々と話せること。